

こんな悩みを解決!

夏が暑くて
耐えられない



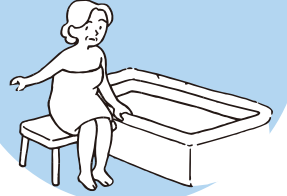
冬が寒くて
たまらない



暖房の効きが悪い



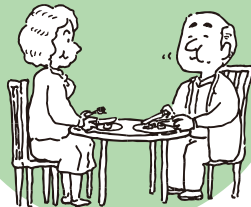
廊下やお風呂が
冷え切っている



夜中、トイレに
起きるのがツライ



建替しないで
高断熱住宅



地震のニュースに
ドキドキしたくない



室内の段差が
気になり始めた



今がチャンス!
最大

200万円の
補助金交付!

◎国交省の長期優良住宅先導事業とは

長期優良住宅先導事業は、「いいものをつくってきちんと手入れして長く大切に使う」というストック社会のあり方について、具体的内容を広く国民に提示し、技術の進展に資するとともに普及啓発を図ることを目的としています。この観点から、先導的な材料、技術、システムが導入されるものであって、住宅の長寿命化に向けた普及啓発に寄与する事業の提案を、国が公募によって募り、優れた提案に対して、予算の範囲内において、国が事業の実施に要する費用の一部を補助するものです。(一般社団法人すまいづくりまちづくりセンター連合会のホームページより)



断熱改修なら広々間取りでも冬暖かい

お問い合わせはお気軽に! 長期優良住宅先導事業採択「断熱+耐震同時改修」は

新住協

検索

<http://www.shinjukyo.gr.jp/>

高断熱高気密を基本性能とした住宅技術研究機関

NPO法人 新木造住宅技術研究協議会

〒984-0882 宮城県仙台市若林区かすみ町 24-10 板硝子会館 2F

TEL.022-781-1371 FAX.022-781-1372



お問い合わせは新住協会員

屋根や壁をただ貼り替えるだけでは勿体ない！
住宅の断熱性能・耐震性能もリフォームできる時代です

夏も快適



冬はあったか



新住協の

断熱 + 耐震 同時改修
プロジェクト



長期優良住宅先導事業採択決定！

新住協の断熱耐震同時改修プロジェクトとは

新住協は室蘭工業大学の鎌田紀彦教授を指導者として、高断熱高気密住宅を開発推進してきた技術研究団体。近年、それまでの研究成果を生かして既存住宅の断熱改修技法を構築しました。それは、既存住宅の断熱材が効かない根本的な原因である壁内構造（壁内の上下端が外気に通じている）に気流止めを施工することで改良するもの。この一連の工程の流れの中で、耐震性を高める工事も可能になりました。つまり断熱耐震同時改修工法です。この方法は、室蘭工業大学鎌田研究室が開発提案し、その後、北海道立北方建築総合研究所との共同研究で構築。工事が容易な割に、効果がきわめて大きい工法という評価を受けています。

今なら最大

200 万円の

補助金交付！

補助金は改修工事費用※1の3分の1で200万円が上限。

※1 照明器具、カーテンなど対象外になる工事もあります。



《ご注意》

- ①補助事業の対象となる工事は、平成23年3月末までに改修工事に着工する住宅です。
 - ②補助される工事件数の数量に限りがあります。
 - ③住宅の現況によって、対象工事にならない場合もあります。
- * 不明な点は裏面問い合わせ先にご相談ください。

